

知的財産秘密保持契約書(日英)の 基礎と交渉実務

～NDA神話の崩壊と対応、NDAの落とし穴や限界を
押さえた上でのNDAの戦略的活用とは～

難易度
初中級



2021.7.7(水)、8(木) いずれも13:30～16:30

講師： 牧野 和夫 氏

芝綜合法律事務所 弁護士・弁理士
米国ミシガン州弁護士
元 アップルコンピュータ(株) 法務部長
元 ビジネスソフトウェアアライアンス日本代表事務局長



LIVE



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
アーカイブ配信も実施(各講義翌日から1週間)

・聞き逃しても安心! 期間内はなんども、再生速度を変更可能!



◆日頃、見慣れたNDAですが、実は多くの落とし穴があります。またNDAは万能ではなく、その法的効力には限界があります。これらを正確に押さえた上で有利なNDAの締結と管理を行うべきです。また最近では、外国企業と英文のNDAを締結するケースが増えています。特に、通信会社のデータ不正開示事件などの営業秘密漏洩事件が急増しており、企業防衛の立場から緊急に現状の見直しをすべき状況になっております。

◆本講座では、NDAの基本的な理解を押さえた上で、日本語NDAの一般的なサンプル書式を説明し、主要条項のポイント、交渉の留意点を押さえます。つぎに、NDA神話の崩壊～NDAの落とし穴や限界と対応を検討します。講義の後半は、英文契約書のNDAへ話を移しますが、まずは、英文契約書の基本的な考え方や基本的な言い回しについて説明して初学者にも分かりやすい解説をします。

◆法務・知財部門、事業部などを始め、経営者や管理職の方々も知っておくべき内容をカバーします。

<講義内容>

1. NDA (Non-Disclosure Agreement)や

CA (Confidentiality Agreement)の基本的な理解

- (1) なぜNDAを締結する必要があるのか～営業秘密の保護
- (2) NDAの形態 ①覚書とセット、②単独、取引契約書へ一般条項として
- (3) Unilateral (One Way)とBilateral (Mutual)のいずれの書式を使うべきか？
外資の日本法人とNDAを締結する場合に3社契約にすべきか？
秘密保持義務の例外開示相手として処理すべきか？
- (4) どの種類の秘密情報がどちらから他方へ開示されるのか～まず質と量を評価せよ。
- (5) 自社が秘密情報の開示と受領でどのような立ち位置になるか判断した上で
NDAの交渉方針を決める。
- (6) NDAは常に進化(変化)している。
とくに英文のNDAには新しい条項が登場してくる。

2. 日本語NDAの一般的な書式(サンプル雛形)を見てみよう

- (1) 対象となる秘密情報の範囲をどうするか
(口頭を含むか。人の記憶を含むか。独自開発と同じ秘密情報を含むか。)
対象外であることの立証責任はどちらが負担するのか？
- (2) NDAの契約期間はどうか。秘密保持の期間をどうか。NDAの契約期間と秘密保持の期間との関係をどう理解すべきか。
- (3) 損害賠償の範囲
ペナルティーを設けるか？見積もり方法・基準は？具体例は？上限を設ける規定、
当方は上限を設けたい場合に、相手方から例外的に故意・重過失の場合は
上限を適用しないと主張する、対案が出てきた場合、どのように対応すべきか。
間接損害を排除する規定
- (4) 秘密保持義務者の範囲

3. NDA神話の崩壊～NDAの落とし穴や限界と対応

- (1) なぜNDAは万能ではないのか？

4. 英文契約書の基本的な考え方や基本的な言い回しについて

- (1) 基本的な構成
- (2) 英文契約書の考え方(日本語の契約書との違い)
- (3) (NDAのサンプルから)重要な基本表現・言い回しのポイント
- (4) 一般条項を理解しよう
準拠法、紛争解決条項(裁判管轄、仲裁合意)、完全合意、
分離可能性、譲渡禁止条項など

5. 英語NDAの一般的な書式(サンプル雛形)を見てみよう

- (1) 秘密保持義務の存続期間が終了すれば秘密保持義務を
完全に失効させてよい
- (2) 開示情報の正確性の保証条項
- (3) Non-Solicitation(引き抜き禁止)条項
- (4) Residuals(残留記憶)条項
- (5) Feed Back条項
- (6) NDA違反に関する救済手段
- (7) その他最新情報(フィードバック条項の最新バージョン、
不競法「限定提供データ」規定の仕方等)

6. 【演習・シミュレーション】

取引の相手方から送られてきたNDAドラフト(まずは日本語で演習して、次に英文で演習します)に対して、対案(カウンタープロポーザル)と一緒に検討してみましょう。

NDAレビューのためのチェックリスト



◆受講料： 会員17,500円・一般20,000円(※税込)

◆申込： http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html

お申込みページQRコード

発明推進協会 オンライン・LIVE配信 お申込み・受講の流れ

■「Vimeoライブ」を利用したライブ配信となります。
お申込み前に視聴テストページ(<https://jippii-live.com/test/>)より視聴できるかご確認ください。

会員の方

発明推進協会「会員専用ページ」

<https://www.hanketsu.jippii.or.jp/kaiin/>

■会員専用ページの使い方
http://www.jippii.or.jp/kenshu/pdf/tanki_kaiin.pdf

ログイン

該当講座をお申込み下さい。
(「研修・講座のお申込み」→「オンライン・LIVE配信」)

一般の方

発明推進協会「オンラインLIVE配信ページ」

http://www.jippii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html

WEB決済は「STORESサイト」

<https://hatsumeisuishin.stores.jp/>

(会員様は会員専用サイト記載のクーポンコードで割引になります)

から該当講座をお申込み下さい。

※¹請求書は開催日2週間前頃より順次送付いたします。

- お支払い方法:「銀行振込」※¹「得意先コード」「WEB決済(クレジットカード、コンビニ決済、PayPal、楽天ペイ)」
- お申込み期限:ライブ配信前日の午前10時まで

※キャンセルはできませんので、
お申込み前に十分確認をお願いいたします。



お申込み確認自動返信メールが届きます(WEB決済で購入の方を除く)。



ライブ配信特設サイト情報(ログインID等)は、開催前日までにメールにてご案内。

■前日15:00までにメールが届かない場合は、お問合せください。

■当日は、講義開始の30分前からライブ配信しています。

講義当日は、上記ライブ配信特設サイトより受講。

- テキスト(PDFデータ)は視聴ページ入室後に閲覧/印刷いただけます。
- テキストは、動画内投影のみ、WEB上でのデータ閲覧のみの場合もございます。
- ご質問は「質問掲示板」にてお受けし、講義中に可能な限り回答いたします。

※ネット環境、機器トラブル等により、当日ご受講出来なかった方のために、講義後1週間アーカイブ配信いたします。
(ただし、諸事情により、アーカイブ配信を行わない科目(チラシに記載)もございますのでご注意ください。)

◆お申込みについて◆

- ①受講にあたっては、各WEBサイトからお申込ください。(お申込み前に視聴テストページより視聴できるかご確認ください。)
- ②受講料の「会員価格」とは、(一社)発明推進協会、(公社)発明協会、各地域の発明協会のいずれかの会員である場合に適用されるもので、**会員専用ページから申込みいただくことで会員価格の適用を受けられます。**
- ③定員に達するまで、先着順で受付けます。
- ④銀行振込を選択のお客様へは、請求書を開催日2週間前より順次送付いたします。期日までにお支払いをお願いいたします。
- ⑤**キャンセルはできません。お申込み前に十分確認をお願いいたします。**

◆領収書について◆

領収書の発行は行っておりません。各決済ごとに発行される書類が領収書扱いとなりますので、そちらをご利用ください。

※弊社発行の書類が必要な場合は「購入明細書」(PDF)の発行を承ることが可能です。

お申込み講座名、お振込日、お振込者名について、(kouza-form@jippii.or.jp)へご連絡をお願い致します。

◆ご視聴について◆

以下の行為は禁止されております。

複数人での聴講、講義の録音・録画、講義資料を申込み者以外の第三者に共有すること、講義資料の二次利用。

(なお、上記行為は例示であり、上記以外にも弊会が不適切と判断する行為を発見した場合には、利用制限・アカウント停止などの措置をとらせて頂く場合がございます。何卒ご了承ください。)

◆その他◆

以下の場合には開催を中止することがあります。

申込者数が15名に達しない場合、天災等により講座開催が危ぶまれる場合、その他円滑な開催が不可能となる場合。